日本勞働總同盟

勞働組合法謀殺の元兇

郷 と團 を葬れ！

財閥の番頭濱口を監視せよ！

勞働婦人

八月

No. 32

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF IOWA

勞働婦人第三十二册目次

一雜加はる毎に……………一
勞働組合を作れ……………二
時の問題二つ……………四
闘爭グラフ……………六
勞働婦人讀本……………八
夏と戰ふ婦人勞働者……………一四
戰線だよ！……………一六
……田舍の母より……
鐘紡爭議片々……………二〇
組合旗は進む……………二二
……新聞から……
……主婦の手帳……
勞働講座……………二六
芽は伸びる……………三〇

戰塵

レッテルがキレイでも中味は、食へたものでなし。それかつて、肥やしにもならない。まるで腐つた西瓜のやうなものはブルジョア女だ。

◇

何故かつてこの連中は、不生産的シロモノで、芋の煮えたのも知らない。

◇

そして、この女達、昨今の殺人的不景氣も殺人的炎暑も「それは日本の話ぢやなくつてよ。どつか外の國のことよ」てな涼しい顔なして海邊や山の中でごろん〳〵してる。

◇

それにひき代へ、全國百五十萬の勞働婦人、近頃の炎暑百度、それでも暑いとも言へず、ボッと眼が眩んだら眩んだまゝ、一日中を仕事臺にかぢりつく。

◇

そして日本の國富の大半が勞働婦人の黒い硬い傷いた手から生産される。

◇

資本主義から我等の黒い手を奪ひかへせ。——黒い手と手と手を縦横無盡に結びつけ、勞働組合に團結せよ。これのみが唯一の我等の堡壘である。

× ×

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF IOWA

詩

一難加はる毎に

勝田香月

私達は勇敢に闘つた
そして私達に報ひられたものは何であるか

嘲笑と侮蔑だ
彈壓と困窮だ
苦難と寂寥だ
或は病を得て斃れた同志もあつた
或は囚れて憤死した同志もあつた
隱謀と策動と裏切りと
かくて幾度か私達の陣營は攪亂され
かくて幾度か私達の戰線は壞れた
だが―― 私達は絶望はしない
一難加はる毎に堅くなつて行くこの意志を見るがよい
一敗重なる毎に燃え旺り行く此の闘志を見るがよい
幾度か試煉の難を身に受け
寂しくとも辛くとも
私たちの若き同志よ!
あなた方はきつと最後迄闘ひ拔くであらう!

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF IOWA

勞働組合法をつくれ

一

政府は、勞働組合法をこの次の議會に出すと云つて居ります。これに對して、資本家團體は猛烈に反對運動を始めました。「勞働組合法をつくれば、日本の産業はつぶれる」と云ふのが、その云ひ分です。ところが、私共勞働者の立場から見れば、政府の勞働組合法案は、まだ〳〵勞働者の權利を充分認めて居らないのですから、「これでは駄目だ、もつと立派なものをつくれ」と要求して居ります。

二

勞働組合法は一體何でせう？

一口に云へば、勞働組合を保護する法律であります。この法律が出來れば資本家は、勞働者が組合に入つたからと云つて首を切る事が出來ません。今迄の樣に、無暗みに壓迫する事は出來ません。勞働組合を認めて、これと相談して何事もやらねばならない樣に、だん〳〵なるのです。

三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF IOWA

然し、それと同時に、勞働組合も亦、今迄よりも一層、堂々としたきまりのよい、責任を重んずる組合にならなければなりません。壓迫される時代には、時にはヤケクソな運動もやり勝ちですが、立派に組合の權利が法律によつて認められる様な時代には、組合も亦そう云ふ心持ちにならなければならぬのは當然だと思ひます。

四

それなら、何故、資本家は勞働組合法のつくられるのに反對するでせう。まことしやかに色々理屈を云つて居りますが、腹の底を割つて見れば、「組合が出來れば、今の様に、勞働者を思ふ存分コキ使ふ事が出來ないから反對だ」これです。

五

立派な勞働組合法が出來て、まじめな勞働組合が、成長すれば、なる程、資本家は一時困るでせう。然し、これに依つて資本家が横暴しない様になり、私共勞働者が安心し、喜んで働ける事になるならば、それは私共の幸福ばかりでなく、日本の産業もほんとうに榮へると思ひます。

今は、何事も力を合せて進む時です。資本家許りが得手勝手な事を云つて居ては、日本の國は滅ぶるでせう。私共は、一日も早く勞働組合法をつくつて、勞働者の團結の權利を保護し、私共に正當な立場を與へる様強く要求致します。（齋藤健一）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

時の問題二つ

赤松常子

働いた賃銀すら貰らへぬ製糸勞働婦人

今何が不景氣と云つても、一番慘めなのは紡績と製糸及び織物產業であります。

殊に製糸產業に致つては極度の不況に沈倫して、呼吸もつけない有樣であります。

繭の値が、昨年八圓位したもが、今年は三圓臺を割り、一圓五、六十錢迄にも下つてしまつてゐますから中小資本でやつてゐる製糸業者はやりきれず續々工場は、一時又は無期休業を宣し、富山、愛知山梨、群馬、三重の各地方殊に製糸の中心地である長野諏訪地方では七月十五日を期、八十餘工場は一齊に無期休業に入り、其の結果三千人の女工は失業の淵につき落されてしまいました。

…◇…

こうして大勢の失業者を田舍へ追いかへしてゐますが、見逃がしてならいのは、働いた賃銀を拂はないばかりか、歸國旅費すら支給してゐない會社が全國八割もある事です。明らかに之の暴擧は工場法違反であります『賃銀は每月支拂ふべし』と云ふ條令に違反した脫法行爲であります。

我々はいまだ之を責め、之と戰ふ强力なる製糸勞働組合の組織されてゐない事を悲しむのです。しか

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF IOWA

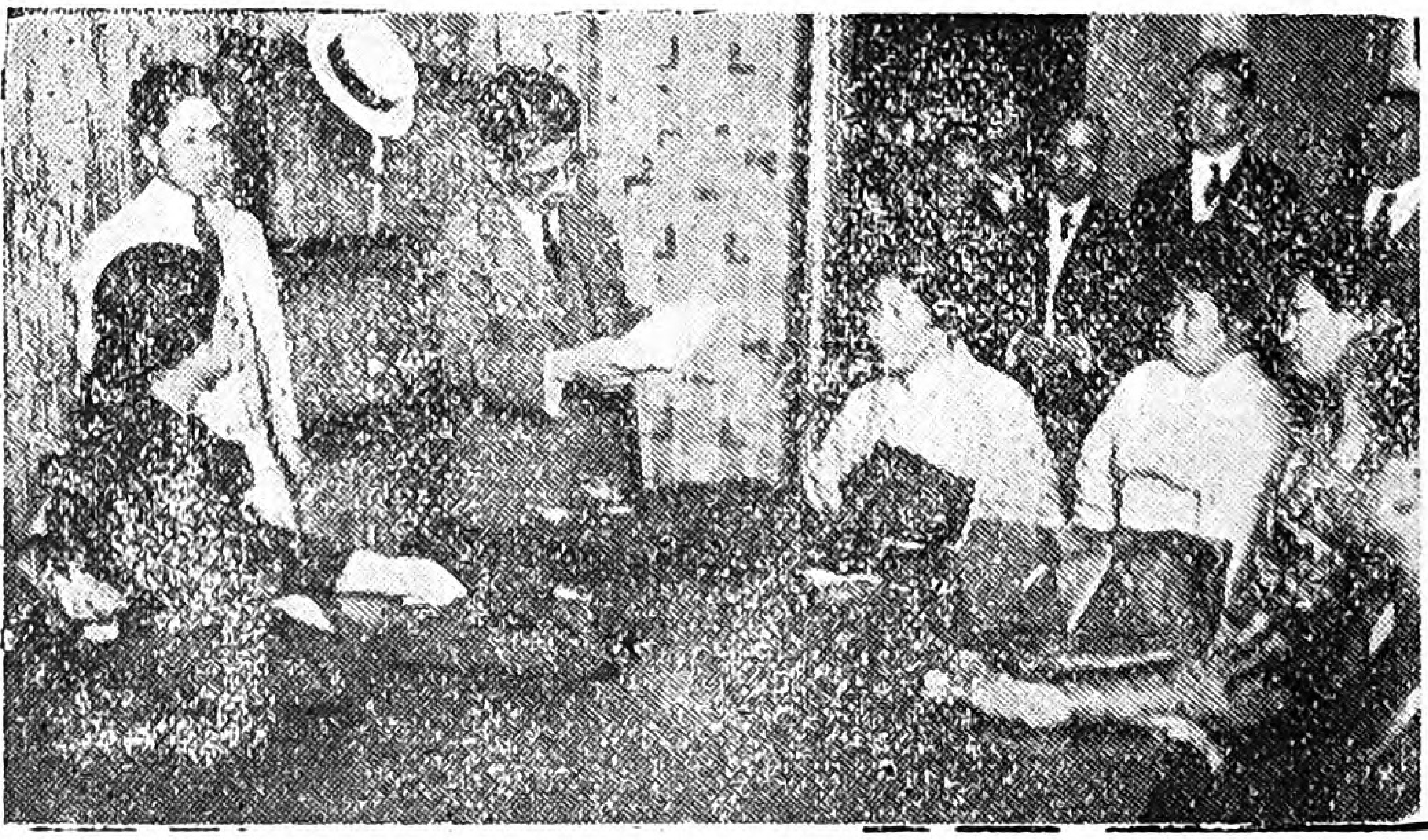
しいたずらに踏んだり蹴つたりの虐遇にいつ迄も忍んでは居りません。起ちて戰ふべき時がきつと來る事を信じて疑いません。

母子扶助法を定せよ

首切り、値下はたゞちに、勞働者の臺所に響いて、生活苦は容赦なく母の乳を奪ひ、子供を飢に泣かし資本主義の魔の手は遂に恐るべき母子心中、一家心中の悲劇に勞働階級を追ひ込みます。此時に社會民衆婦人同盟は『母と子の生活權を守れ』と『母子扶助法』の制定を要求して起ちました。(要項は二十三頁參照)

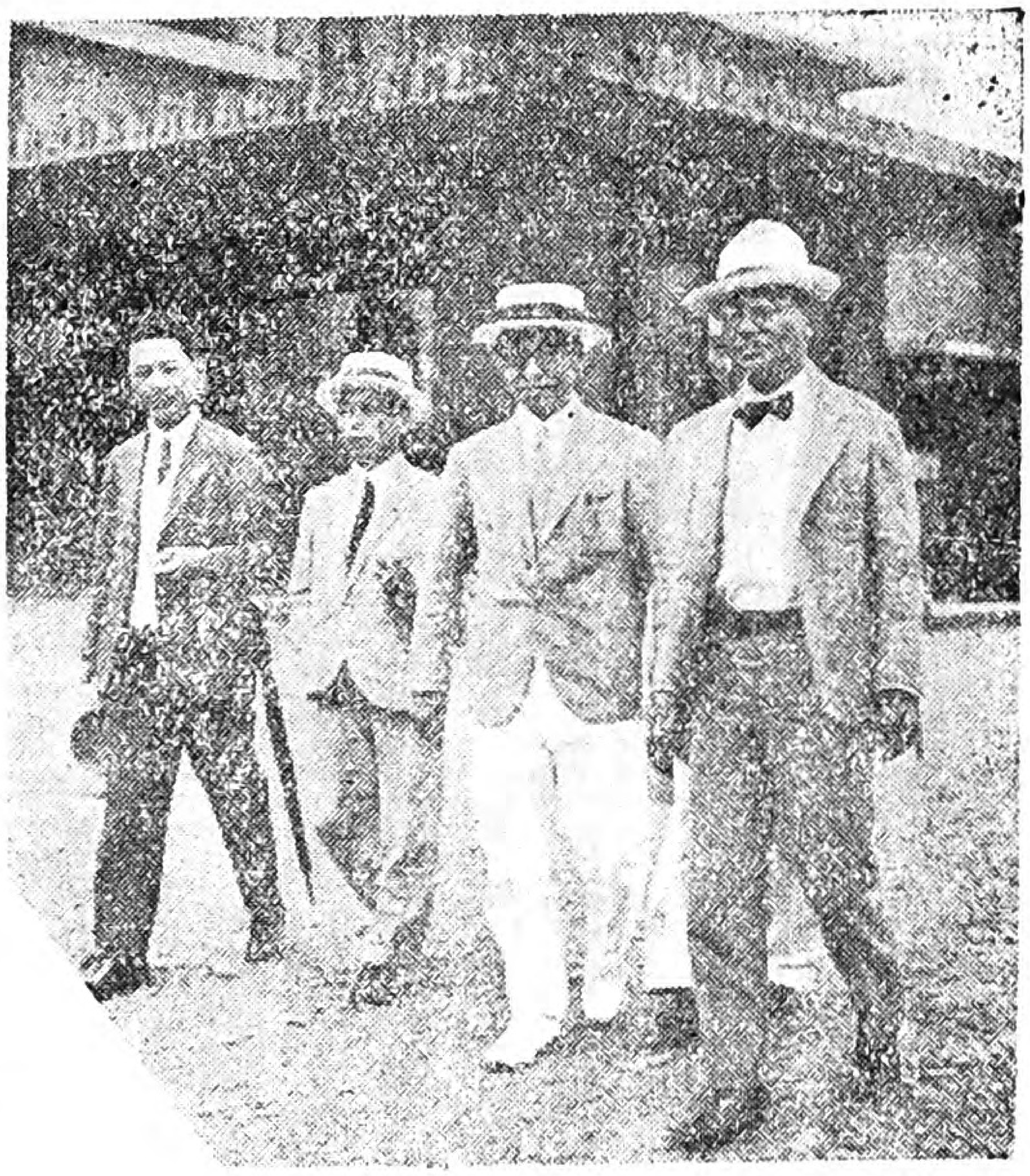
英國には既に『寡婦年金法』あり其他諸外國では着々と『母子の爲の法令』を實行しつゝあります。我々は自ら好んで失業したのでもなければ、生活が苦しくなつたものでもありません。勞働階級の窮乏の一切の原因は資本家政府にある時、失業又は貧乏による家族の窮乏の打開の爲に國費の支給を要求するは當然の權利である事を信じる者であります。

下の寫眞は、六月二十三日母子扶助法制定要求の決議文を、社會民衆婦人同盟代表者が、首相官邸に於て齋藤内務次官に手交してゐる所



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF IOWA

闘争グラフ

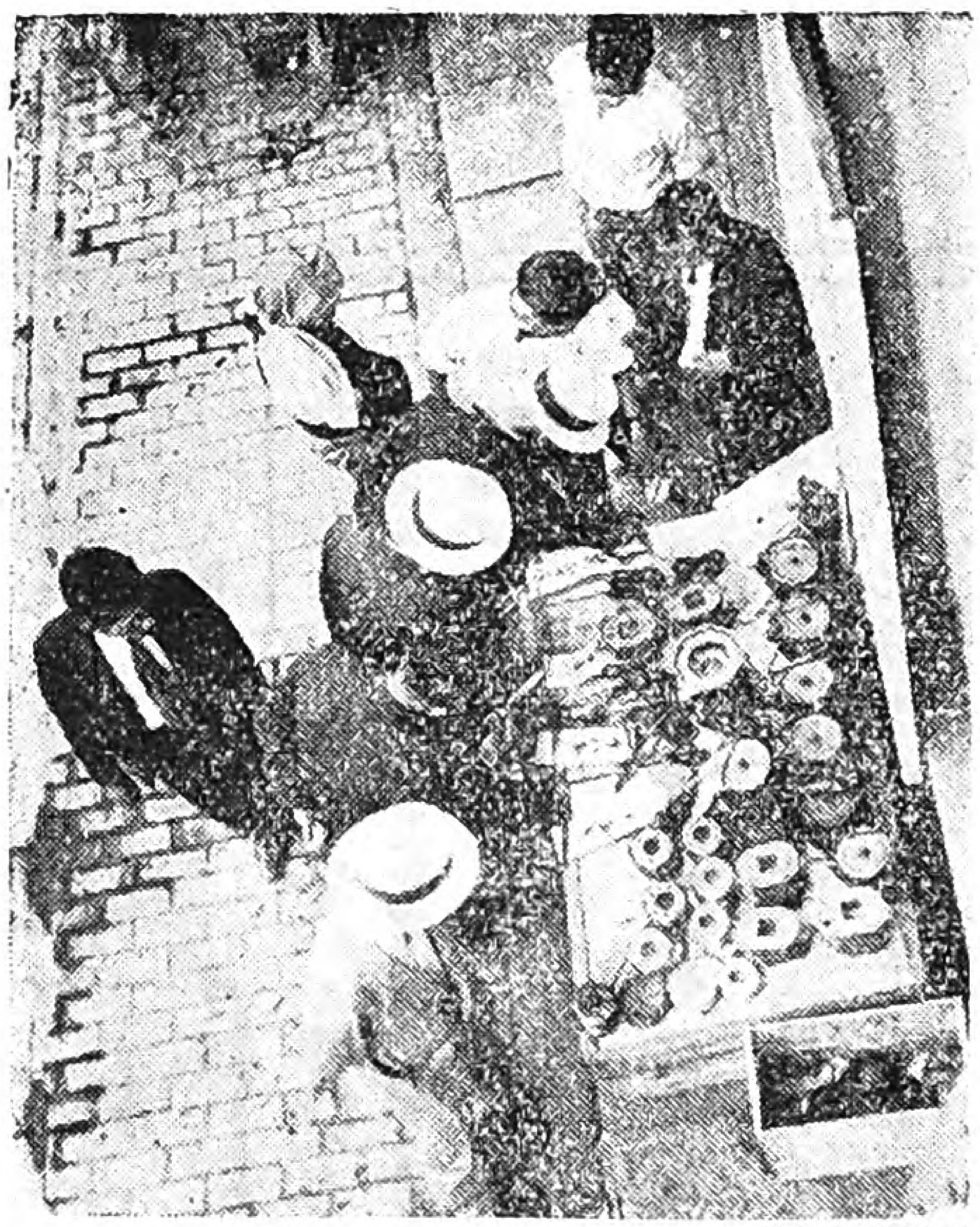


社會民衆黨は完全なる勞働組合法案獲得の爲に七月九日首相官邸に濱口首相を訪問し、資本團の意見に屈せざる樣抗議した。右から小山、龜井、赤松、小池、松岡の各中央執行委員

六月廿七日富士ガス川崎工場は三百七十余名の大量解雇を斷行したから直に紡織川崎支部は要求書を出して戰を開始した抗爭十日圓滿解決した。寫眞は紀念すべき解團式の日に撮す

Digitized by Google

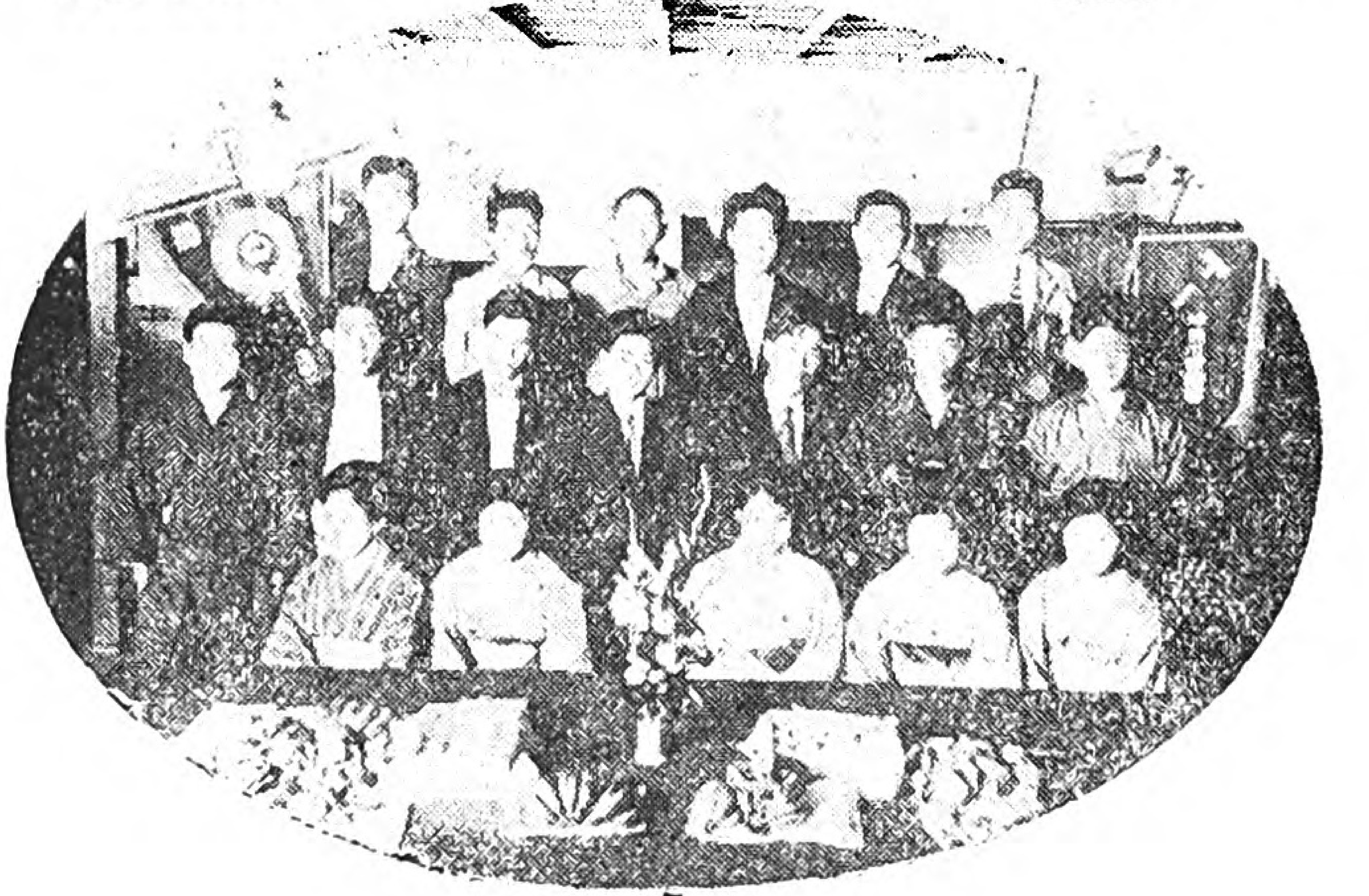
Original from UNIVERSITY OF IOWA



七月十二日東京芝浦會館で、遞信勞働新聞へ總同盟遞友同志會機關紙）主催の「無產青年雄辯大會」が開かれた。我紡織吾嬬支部から唯一の婦人辯士として出演した閼スイ子さん、審査の結果七十二點を得て第六位に入選し、婦人勞働者の意氣を吐いた。

上は　埼玉縣川口町の鑄物工場か續々閉鎖されたので、品物を街頭に賣つて解雇手當にあて、ゐる。寫眞は社會民衆黨本部前で鐵工組合員が開いいた店。

下は　七月十五日神奈川勞働學校の卒業式を擧げた。本期卒業生は二十三名で婦人學生の卒業は五名である。右から鈴木コト國井ハル（以上セメント）望月ハナ（東電）引地ハルエ（紡織）青柳マサ（セメント）



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

勞働婦人讀本

皆様。『イソップ物語り』と云ふ本を御讀みになったことがありますか。獸や鳥や木や自然が色々と面白く書いてあります。そう云ふ世界にも强い者や弱い者や、ごまかしの上手なものや奢り高ぶる者や、いぢめられるもの等が澤山あります。其中から少しばかり拔いて見ませう。

第一課　狼の無理

悪い狼が其仲間を失つてまごついてゐる小羊に出逢ひました時、唯一口に喰ひ殺さず、どふかして理屈を見付けて、小羊が自分から狼に喰はれても仕方がないのだと思ふ様にした上、喰つてやらうと思ひましたから

『オイ御前は、去年俺を侮辱したな』

と申しますと、小羊は

『そんな筈はありません。去年私はまだ生れて居りませんもの』

と云はれて、狼は困つたが

『それでは俺の所の草を喰つたらう』

小羊『草はまだ一度も喰つた事は御座いません』

狼『さうか。夫れでは俺の所の水を飲んだに違ひないぞ』

小羊『イエ私はまだ母の乳より外に水も飲まず草も喰べません』

と申しましたので、狼も今は責め方に困つたが

『エー面倒臭い。貴様がつべこべ云ひ遁れたつて此方は夕飯を食はずには居られないんだ』

と云ひ乍ら、小羊をムシヤ／＼食つて仕舞ひました。

◇……**壓制者は常に其壓制をなすに都合よき理屈を造る。**

私共工場に働く者は丁度この可憐な小羊ではないでせうか。狼にあたる所の人は、工場や會社にもウヨ／＼居ますね。大きく云へば世の中の資本家は皆狼です。壓制者ですから。常に自分達の都合のよい様に工場の規則でも世の中の法律でも作り上ます。勞働者や無産

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

階級にどんな正しい叫びがあつてもです。

第二課　牛と車の心捧

田舎道を二三の牛が荷車を牽いてやつて行きますと車の心捧が

『あゝこう使はれちやあ、やりきれない。馬鹿〳〵しい』

と不平を云つて大きな聲を出しましたから、牛は振返つて車に向ひ

『オイ〳〵。一番骨の折れるなあ御前ぢあねえぞ。此方等だぜ。御前が関む位なら、此方等あ泣いたつて吠えたつて追付きやしねえや』

と窘めました。

◇……苦痛最も甚だしきものは叫ぶ事最も少し。苦の軽い者の方が苦情多し

タラ〳〵流れる油汗を拭く暇もなく、機械にかぢりついて、上役の睨む目を氣にしい〳〵して働く勞働婦人を牛に置き代へませう。車の心捧の所へブルジョアの御孃さんを据えて見ませう。ぴつたりあたりますね。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF IOWA

苦痛最も多い勞働婦人は今迄は苦情を云ふ事すらも知らなかつたのです。それに引かへて苦勞の全く無いブルジョアの令孃は、この暑さ位にも苦情多く、やれ避暑だ、海岸だ、山だと騷ぎたてます。

第三課　黑白の職業

或日一人の炭燒きが、日頃懇意な友達で布晒しを業としてゐる男に道で遇ひまして

『御互ひに遠く離れて棲んでゐるよりか、同居したら尚一層親しくなるだらうし、生活費も餘程德だらうからそうしちあどうだらう』

と相談をかけました。すると布晒しの男は

『いや。今の仕事をやつてる内は出來ない相談だ。何故と云つて見るがいゝ。俺の家業は布を晒して白くするのが家業だ。それを側からお前の炭ぼこりで黑くして行かれた日にや、明日から飯の食ひ上げだ』

と申しました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

◇……「牛は牛連れ」とは此事で利害を異にしてゐる者はどうしても一致する事は出來ません。

一つの工場に使ふ者と使はれる者と、搾り取る者と搾り取られるものと、どうして一致する事が出來ませう。私達は誰が私達の仲間であるか、利害の一致する者は誰かを目極めませう。それは云ふ迄もなく御互に働く者は働者同志が團結しなければならない事をこのお話は教へてゐます。

第四課　野猪の武備

一匹の野猪が樹の下で、頻に其牙を樹の幹へ磨りつけてゐる所へ、通り掛つた狐が之を見て

『獵師が來たとか獵犬の聲がするとか、別に其身に危險が迫つて來ても居らぬのに、どうしてそんなに牙を磨いてゐるのか』

と尋ねました時、野猪は

『之もよく考へての上でかうするのだ。危險がすでに身に迫つてから、狼狽ゝ牙を磨がう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

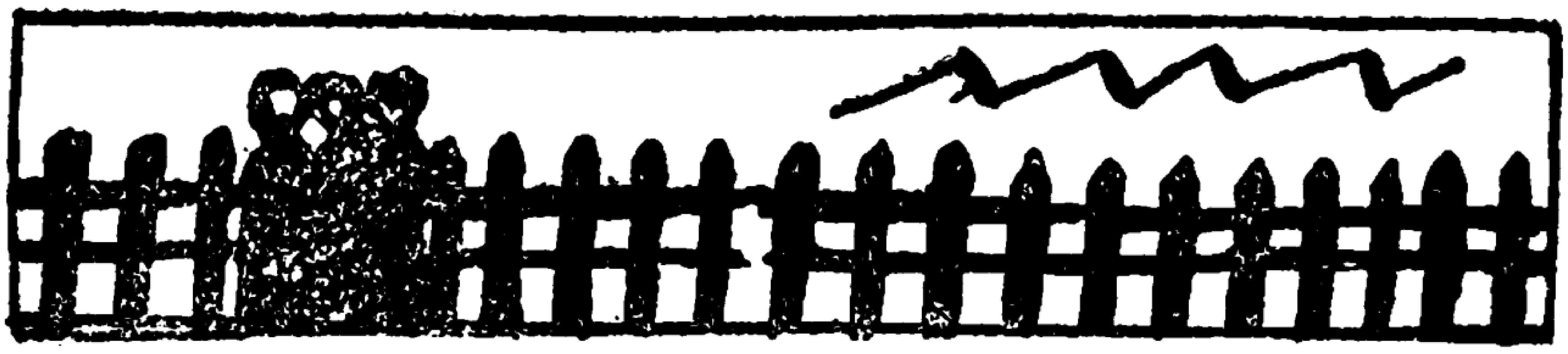
としたつて間に合ふもので無い」
と答へました。

◇……武備整然たるは平和の最も善き保證なり。

私共は病氣とか災難とか澤山な敵が肉體の上に絶えず隙を狙つて居りますから、肉體も常日頃から丈夫にしなければなりませんと同様に、工場に、會社に働く勞働者は、今この不景氣で、首切り、賃銀値下げ、操短、時間延長といろ〳〵の手段で、私共の利益をこの上減らして來やうとする敵が常に〳〵覗つてゐるのです。何時如何なる場合でも此等の敵と戰ひ且つ充分なる勝利を得る様に、勞働組合を充分に守り育てゝ、力を貯えておき、組合の部門が一齊に活動できる様にしておかねばなりません。危險が身に迫つて狼狽して勝利を得る事は出來ません。泥棒をつかまへて繩を綯ふ事のない様に、戰鬪準備を平和の裡に用意しておきませう。(つゞく)

■ ■ ■

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF IOWA



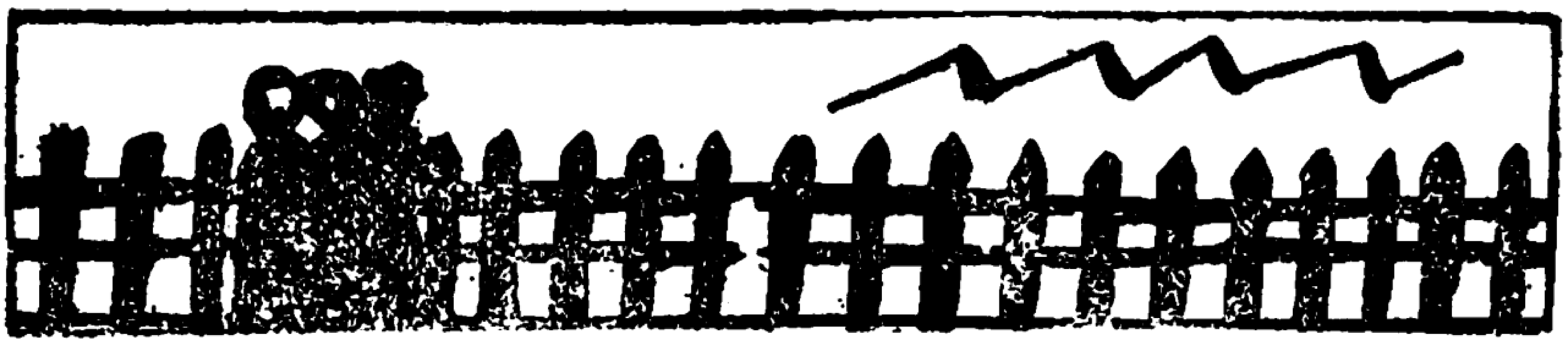
●……夏と闘ふ婦人勞働者……●

乘合自働車の婦人車掌

群馬交通勞働組合　なみ子

群馬縣澁川町は、西上州の所謂溫泉鄕に入る要路です。伊香保、草津、四萬等と云ふ溫泉への乘合自働車の起點で、この頃の夏の暑さを避けるブルの客を送り迎へする時は、尙一層腹の立つ事が多いのです。全部車掌は婦人を使つてゐますが、この勞働も婦人にとつては一番烈しい勞働だらうと思ひます。都會と違つて道は惡いし、山の中で、恐ろしい涯の側を通るし、車は惡いしその動揺はずいぶん身體にこたへます。最初三日間採用試驗があつて車に乘らされますが十人の內七人迄はやり切れず止めてしまひます。結局殘つた者は丈夫な者丈ですが、月經時の休養等一日も與へられず、隨分泣く程辛い事があります。線によつて勤務時間が違ひますが、平均、十時間勤めます。給料は七十錢から八十錢迄で三年位勤め一圓位です。制服は一年一着會社で支給しますが夏も冬も同じものですから夏は暑いし、冬は寒いしやり切れません。組合に加入して一ケ年はすぎましたし、內部も充實して來ましたから、之から不滿な所をどし〲要求して改革してゆくつもりです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA



變壓器を作る工場

鐵工大崎第六支部　とみ子

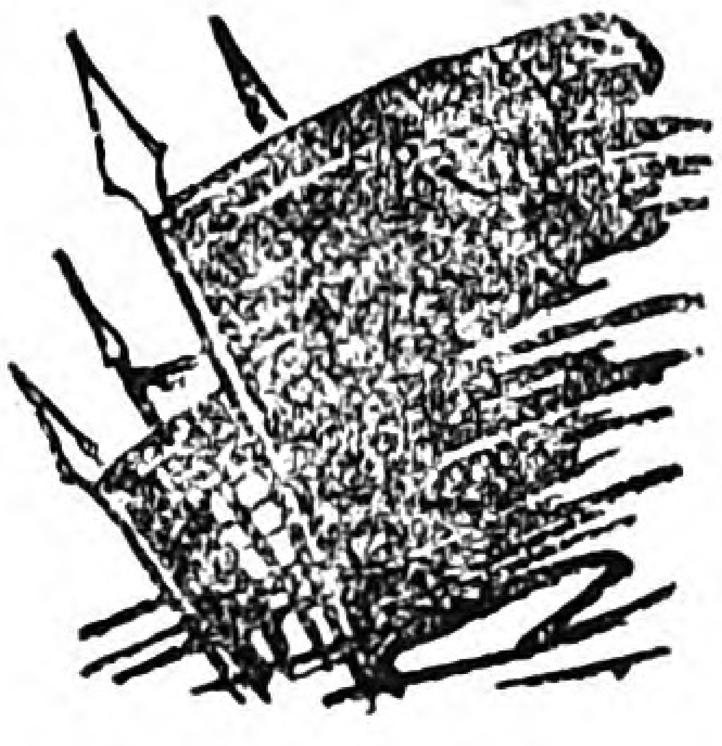
この暑さでは何と云つても、絶縁物を作る所が苦しいのですよ。それは松脂がグラ〱煮えてゐる中に紙を入れて、つまり松脂紙を作るのですが、火の工合で風の通らない様にわざと圍ひをし、その上暗いので強い電燈をつけて、百三十度位ある所で働くのですからたまりません。次にあぶない所はやはり變壓器用の鐵板を切る所です。シヤーリング（切斷機）の磨ぎすました鋼鐵の下で、睡魔に襲はれて、はつとして手の指を斷ち切られる事もあるのです。

力の入る仕事は、コイルを中心に鐵板をぎつしり組んだもの約七・八貫目もあるものを引繰返す時です。一日四臺か五臺作りますが隨分疲れます。賃銀は先月迄は平均女工一圓二十六錢でしたが、今月から値下げがあつて、最高一圓十五錢最低九十錢です。休憩は晝三十分休みがある切りで、朝七時夕五時引けです。こゝの支部には大崎消費組合があり、日用品の配給もして貰へますので大變助かつてゐます。

立派な御客樣だよ

東京の清水組のストライキは七十日も闘つたが、爭議團員の女房組も仲々勇敢だつた。一日社長の邸宅へ示威的に押しかけ、夫人に逢はうとした時、青白い玄關の書生つぼは『奥樣は御中元配りに出かけて御留守です』劍もほろゝの挨拶に『自分の會社が爭儀で二百人の勞働者が夜も日もなく生活が出來ろか出來ないかさ戰つてゐるのに、中元配りとは呑氣だね。よろしい、歸るこゝで頑張ろ迄だよ』さ八人の女房組は乳呑兒を肩から下すやら、小さい兒は磨き立てた玄關におしつこを流すやら、ワイ〱騒ぎ立てる。ブルジョアの玄關に不似合な闖入者なので『此處から御客樣があると困るから引取つて呉れ』さ頼むが『私達も立派な御客樣だ。應接間へ通すのが當り前ぢあないか』と頑張る事〱。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA



戰線だより

……工場から、農村から……

私は嘆かない

紡績保土ケ谷支部　小川カク

私はいつも疲れた時、靈の力なく頂垂れる時、『勞働婦人』を出して讀みます。そして我等の同志の進み行く姿に胸を躍らせます。行く途は遠く、我等の任重きを憂ふる時、友よ、御互に協力致しませう。組合員を增す爲に、又爭議の場合に全勞働階級の爲に盡す事こそ勞働婦人私達の輝ける任務である事を感じるのです。我等の力こそ――プロレタリヤの團結力――世界を動かし、時代を進歩さす力です。

私達富士瓦斯紡績保土ケ谷工場の同志も、約一ケ年前全國の姉妹と共に正義の戰に參加する契を結び、益々自分達の立場を知つて來ました。私は恐れない。嘆かない未來の希望に力強く生きませう。

田舎の母より工場の娘へ

島崎さだ

急に暑いので、お前の身が案じられます。御障りなしや。御盆には御前の顔が見られるかと樂しみにしてゐたがとうとう歸らなんで、尚一層どうかしらんと母は心配してゐます。御盆には隣村のお藤さんと御島さんが一寸歸られたので御前の達者な事を聞いたし、又言付け品も屆きました。いつに變ら

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF IOWA

愛の念で血と血を分け合つた全國の同志と共に戰ひませう。勞働階級にとつて失業の大受難時代に同志よ。彈壓の大暴風雨大波浪を乘り切りませうね。

私の願ひ

大阪紡織綿步部　木成千壽代

皆樣?・生意氣と笑はないで下さいませ。時代の進步してゆくに從つて私共の同志も多くなつて行くが、又一方青い灯赤い灯の光に誘惑されて行く女の多くなつた事を嘆きます。今私の働いてゐる工場からカフエーのウエートレスになつて居る人も澤山あります。紡績女工をしてゐる私に考へさせて見ますと、女給が男相手に働いて得る金も、我々の流す汗が廻り廻つて居るのです一時的享樂の夢にあこがれて、泥水の渦卷きに飛び込んで行く寄生虫の彼女等の將來こそは哀れなものです。私達勞働婦人は生產者です。寄生虫ではありません。可細い腕で作つてゆく糸や、織物はやがて全國を富ましてゆきます。そして社會の爲になるのです。自分丈が樂をする寄生虫になるな。どこ迄も自分自身の腕で働く勞働婦人となつて、組合をしつかりさして、勞働者みんなが樂しめる樣にしませう。

ぬ御前の優しい心づかひに母は涙が流れました。一郎や御文も大喜び一郎は朝から晩迄裏の川で水鐵砲をして遊びます。御文も少しづゝ立つて步く樣になつたので、あのチヤン〳〵が丁度丈も合つて助かりました。

今年になつて田舍はどこもかしこも不景氣で、ぱつたりぢや。繭が一貫目三圓五十錢に下つたので桑にやつた肥料代にもならんので家もどうなることやらと、父上も浮かぬ顏をして居られる。夏蠶も掃き立てはしたが、宛てなしでこの先きの事は考へられないで、三人寄つても五人寄つても不景氣の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

首になつて

岡山縣高倉村にて　木多都

一九三〇年に於ける日本のプロレタリヤ解放運動の一頁を飾る鐘紡大爭議は五十餘日間の鬪爭記錄を殘して終結した。それから一ケ月は經過した。幾多の同志は此失業と反動の嵐の中に投げ出された。私も最も憎むべき彼ブルジョアジーの都合のいゝ産業豫備軍に編入された一人だ。

鐘紡王國に敢然戰つた歷史の地大阪を一時萬斛の恨を呑んで去り、田舍に歸つて來た。然し私は決して此事實を悲しむ者ではないのだ。この胸にみなぎる反抗の炎は、やがてこの資本主義社會を粉碎する強大なる爆彈となるであらう事を信じるが故に。より以上階級意識に目醒め根強く武裝し固く結合する同志の增す事を信じるが故に。

見よ！日本資本主義の行詰りの斷末魔の叫びを。産業合理化。國産愛用。稅關引上げ。金解禁。それによる、首切り、賃銀値下げ、操短……。一切の負擔は我々プロレタリヤに課せられつゝある。

健康なる體の持主が働き度くとも働く事の出來得ぬ社會こそ、何と不合理極まるものであらう。失職は安くして就職の難きを――皆彼ブルジョアがさうさせるのだ――

話ばかりで、皆金を使はん事をきめました。『砂糖だち』『酒だち』の相談もそこゝでおります。新田の作さんは少し氣が違ふたとの噂さ。何でも銀行がつぶれて、預けた金が取れんのだそうな。東京へ稼ぎに行つてゐた松造さんが、首とかになつて歸つてゐなさるそうな。そんな話を聞くにつけ御前の身が案じられます。都も不景氣と云ふ話だが御前の會社は大丈夫だらうね。今はどうしても御前に働いて貰はねばならんのでも少し辛棒して下さい。毎年脚氣の出る頃だが十分氣をつ

つく／＼痛感してゐる。人口二百五十萬を抱擁してゐる大阪の地も私の仕事は見つからなかつた。食ふ道さいあれば、こんなにボンヤり田舍で遊んではゐないのだ。田舍は人があり餘つてゐる。苦しいのだ。

私はやつぱり工場都市へ歸らうと思つてゐる。そして働いて再び起つ日を待つであらう。

一度鐘紡淀川工場に組合旗を押揭げた我々の旗は、二度三度更に我等の敵鐘紡の壘をつくであらう。

× × × ×

喧嘩のやり場

──富士紡爭議にて──

それは六月二十六日午後二時。富士紡川崎工場正門前で組合の前衛鬪士は解雇反對のビラを配つてゐた。ビラをチラと覗いた一女工さん

『俺なんぞ首になるもんか。餘計なおせつかいだよ』と許り喧嘩を切つた偉物がゐた

二十七日は、三百七十八名の首がばつさり飛んだ事だ。

目を泣き腫し乍ら門を出て來た四五人の女工さん。口口に會社の無情冷酷を訴へるのだつた。その中に昨日『俺なんか首になるもんか』とひどい權幕で喧嘩を切つた女工さんがゐるぢやないか。昨日の喧嘩は何處へやら、人一倍泣ぢやくり乍ら臆面もなく、組合に頼つて來たのだ。

こんな人がゐるからこそ紡績資本家は安安と首を切つてくるのだ。

けなさい。御藤さんに小豆を言付けましたから煮てたべなさい。脚氣にいゝからな。

わしは達者で、毎日田へ出てゐます。水の工合もよいし草は二番取りがすんだ。

蠶と兩方でいそがしいが、一郎が時々桑を摘んで呉れるので少しは樂になりました。

昨日小學校の三村先生に道であひました。御前さんの事を心配してゐられた。暑中の御見舞狀を出しなさい。

生水を飮まぬ様に體を大切にしなさい。委しい様子を度々知しなさい。

おすずどの　　母より

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

鐘紡爭議片々（二）

赤松常子

武藤山治が傲然と

『俺の會社の從業員は皆日頃鐘紡の溫情主義と大家族主義で教育してあるから、賃銀の四割値下げを發表しても、何等の動揺も起さない自信を俺は持つて居るんだ』

と嘯いて、鐘紡王國百年の安泰を夢み樣としたが、しかし時代は溫情主義家族主義の堰を破つて、奔流し武藤の面目を攫つて、先の豪語を吹き飛ばしたのみか、武藤も遂に硫酸で追つかけられる仕末だ

四割減給が發表されて、全員一齊に起ち上る迄の大阪淀川工場の姉妹は實に機敏に勇敢に行動した。外部の大阪紡織勞働組合のビラは盛んに撒かれた。門の出入は嚴重になつて風呂敷包みも調べ始められた時、どうして外のビラが巧みに入つたのだらう。それは白木屋や他のマーケットの包紙で上手にビラを包んでどん／＼中に持ち込んだのだつた。そして又其ビラが、寸時の間に全工場、寄宿舍、便所食堂に張りつめられた。特に工場では責任者の机や、責任者の目の一番つき安い場所に。實に巧妙に素早く又大膽に、誰が一體張つて廻るのか？誰も知らん顔をしてる

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF IOWA

る。責任者は躍氣となつて犯人を上げ樣と血眼だ。工場内は騒然とざわめき立つて來た。二人づれの姉妹は呼びとめられた。

『おい。貴樣達だらう。』

『何ですか？ビラを張つたつて？私知りませんよ』

責任者は又あちこち歩き出した。とその姉妹達は一人が上衣の下からビラを取り出すや、一人はヤマト糊の瓶を取り出して責任者の机の上に素早くペタ〳〵と張りつけてさつさと引き上げる。廊下の曲り角にはコンクリートの壁に二枚も三枚も張られてゐる。責任者が二三人の姉妹を前にして怒鳴つてゐる。

『お前達だらう。これを剝げ…』

『私知らないわ。私達便所へ行くんですから』

と驅けて通りすぎると、責任者は『チエツ』とコンクリートの壁にピツタリついてゐるビラ〳〵をコツ〳〵剝がし始める。やつと剝がして行きすぎる。すぐ後から來た二三人の姉妹がそこへ一寸立寄つたかと思ふと、もう四五枚ベタ〳〵に、前のあとへチヤンとビラは白い顔をして張りついてゐる。

『便所と食堂のビラを剝いで廻れ』

と命令された姉妹達は『はい』と返事をして剝ぎ廻るどころか、又新らしいのをベタ〳〵と張り廻つたと云ふ。爭議中にこのビラ事件の話が出る度に皆腹の痛くなる程笑ひつゞけて、平常威張りちらした上役達の狼狽て困つた顔を、動作を眞似て興じたものだつた。

たつたこのビラ事件一つを見ても本當に姉妹はキビ〳〵した活動をやつてゐる。又一人の姉妹は、第二工場の動力のスイッチを切つて廻つた。それは隨分危險な仕事で高い所によぢ昇て、機械と機械の間で作業しなければならないのだが、

『今思ふと、あの時の私は、私ではなかつた樣ですわ。よくあんな勇氣が出て、むづかしい動作を平氣でしたかと不思議ですわ』

と平然と笑つてゐる（つゞく）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

●●●● 新聞から ●●●●

◇女ばかりで　女だけを會員とする村農會が山口縣原南村に創立された。會員七百名。會長以下役員も全部婦人で占める。

◇母と子を守れ　社會民衆婦人同盟は母と子の立場から『母子扶助法を制定せよ』と要求してゐる。

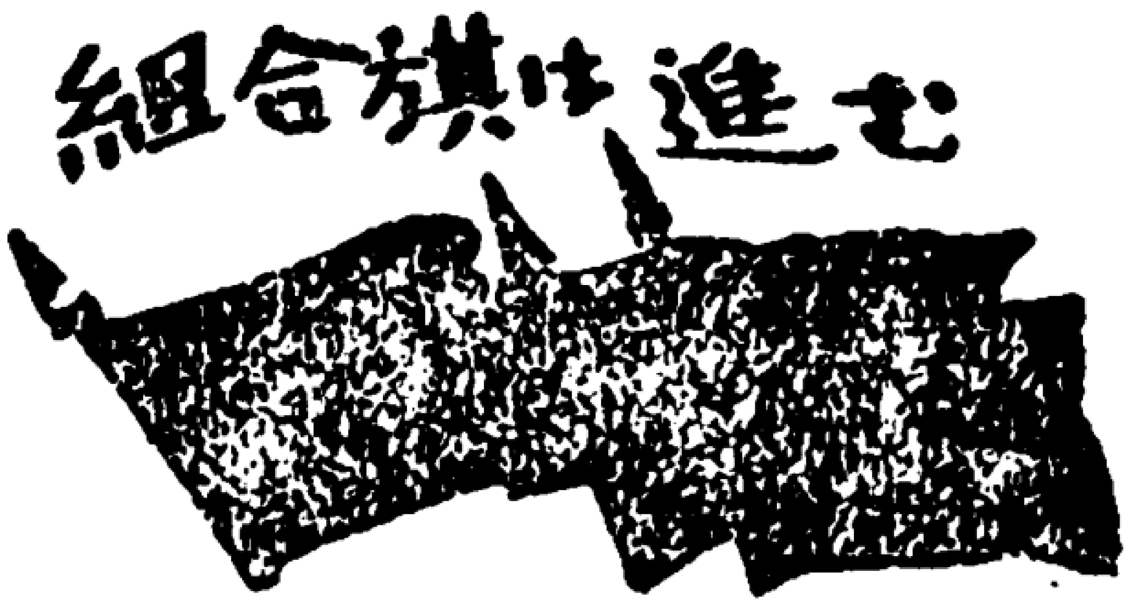
其要項は左の通りである。

(一)扶助料を受くる者の資格條件

(イ)滿十四歳の兒童を持つ寡婦

(ロ)滿十四歳未滿の兒童を持つ婦人でその夫(内緣の夫も)が次の諸項の一に該當し生計困難なる者

病疾の者、精神病院に入院せる者、入監中の者、失業した者、



日常の鬪爭へ

……總會に教育運動に……

紡織沼津支部第四回總會報告

日時　昭和五年四月二十九日午前九時

場所　岳南勞働會館

出席人員　男　百五十名　女　五百名

一、司會者挨拶、市川菊太郎

一、議長選擧、山田重太郎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

（ハ）夫に棄てられたる婦人にして子女を抱え生計困難なる者
（ニ）離別せる妻にして子供を抱え生計困難なる者
（ホ）姙婦にして分娩のため生計困難に陥れる者（以下略）
（二）給與金額　兒童一人に對し一日一圓、二人に付一圓七十錢、爾餘一兒を增す每に五十錢を加ふる事。

◇ストライキ激增　資本家の攻勢は益々激しく、最近の統計を左に

	件數	參加人員數
昭和二年	三八三	四六、六七二
同三年	三九七	四六、二六二
同四年	五七六	七七、四四四
同五年	二六〇	二三、〇〇〇

（五月迄）

◇重役のボーナスは　この下景氣にも金のある所にはある。重役のボーナスはたんまりだ。

社名	重役賞與
滿鐵	六五〇圓
王子製紙	二四〇萬圓
大同電力	二〇萬圓
大日本製糖	一一七萬圓

一、書記任命、田代新一、棚橋由一
イ、勞働組合法制定に關する件
ロ、日曜出勤變更の件
ハ、靑年部充實の件
　賛成演說
　賛成演說
◇緊急動議、鐘紡爭議應援に關する件
ニ、圖書部設置に關する件
　賛成演說
ホ、消費組合促進運動に關する件
ヘ、不當解雇並に賃銀値下絕對反對の件
ト、失業問題に關する件
チ、惡募集人排擊並に工員志願者採用の件
リ、强制職長制度に關する件
以上可決

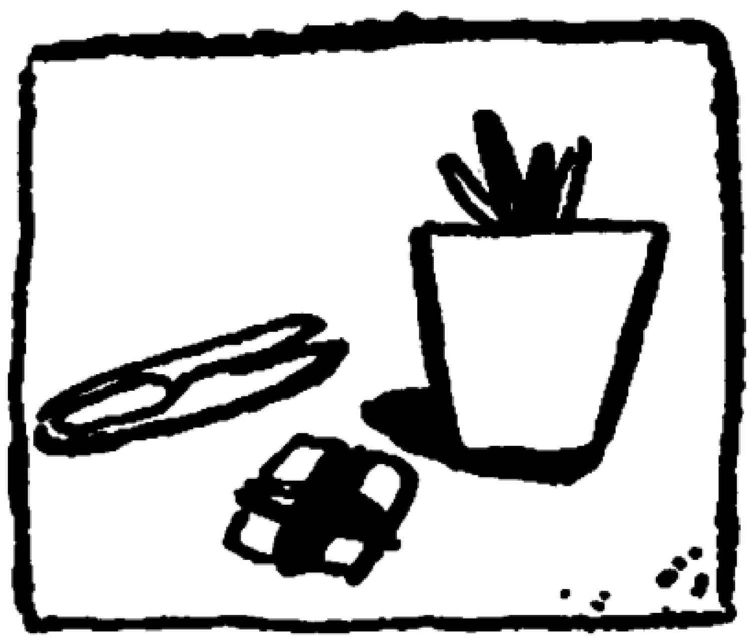
湯口藤吉　松本松江　原キヨ外二名　石川正　岡澤トミエ　久保田美則　棚橋由一　渡邊ツル　櫻井忠義　栗生勝三　山田重太郎　久保田美則　櫻井忠義

（一）新任役員
支部長　山田重太郎　幹事長　佐藤仁左衛門
會計　櫻井忠義　市川菊太郎　婦人部長　高澤良治
其他婦人部より左の役員を選任された。
婦人副部長、松江、救濟副部長、堀みね
靑年部婦人副部長、岡澤トミエ、水口マツ＝
終りて大演說會に移り、辯士總同盟中央委員土井直作、紡織主事富田繁藏氏等大盛會裡に終つた。

製綱勞働組合小倉支部婦人部集會

日時　昭和五年五月十二日午後五時三十分

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA



主婦手帳

◇洋服につくインキのしみ◇

洋服にインキが着いた時には、赤茄子の汁を絞つて擦りつけ、後を石鹼で洗つて置きますと美事に取れます。

◇セルロイド玩具の凹んだのは◇

今は小供の玩具も、大抵、セルロイド製がゴム製になりまして至極手輕なものになりましたが、セルロイドは直ぐに凹んで小供の喜ぶ時間が短く、困るものですが、その時は熱湯の中で二三分振りますと、丸い物などですと直ぐなほります。

場所　日本勞働總同盟九州出張所階上

出席人員　四十二名

議長任命　椎木カネ

書記任命　近藤シゲヨ

議事

一、婦人部茶話會每月開催ニ關スル件

一、社會問題講習ニ關スル件

一、北九州ニ於ケル婦人部陣營擴大運動ニ關スル件

一、料理作法講習ニ關スル件

最後に日本勞働總同盟九州出張所久保時造氏の感想談ありて盛會裡に散會せり。

製綱勞働小倉支部料理講習會第一回報告

日時　昭和五年五月廿一日午後五時半より七時二十分

場所　總同盟九州出張所階上

出席人員　五十八名

講師　八波廣吉氏（小倉市學務委員、市社會課囑託）

（一）九州出張所久保時造氏挨拶

（二）料理講習に關する協議

（イ）每月十日十五日工場歸りに講習會を開く

（ロ）實地講習に於いては講習品目及び使用材料は講師一任、但し會員中に品目希望ある時は前講習會に於いて講師に通知する事

（一）講師講話（概要）

我々にとつて病氣程無駄なものはない。病氣も食物療法によつて完全に治す事が出來る。次いで食品化學の說明ありて、今迄日常の料

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

◇脂氣の食器◇

脂肪類を食べた後の食器は、洗ふのに大變困るものですが、うどん粉で洗ひますと手輕にそれでよく落ちます。

◇便所の臭氣止めには◇

夏になりますと、便所がひどく匂つて困るものです。無暗に藥品等を入れますと、肥料の效能を無くして仕舞ひます。一番よいのは、灰を振撒いて置きますと經濟ですし、それに蛆蟲を絶やし臭氣を止め肥料としても又非常に結構であります。又朝顏の葉を入れてもよろしいです。

理で、不消化物とされ又は、捨て去られてゐた物を合理的に料理する方法等懇切に話された。

紡織保土ケ谷支部昭和五年度總會

日時　七月十日午後七時
場所　保土ケ谷紡績正門通り大弓場
出席　三百名

一、開會の辭、荒木三男三郎
一、議長選擧、齋藤勇
一、書記、太田勝美
一、祝辭、ミス、マクドナルド、赤松常子氏
一、議事
イ、六時間無休憩作業反對の件
ロ、解退職手當規定公表要求の件
ハ、寄宿舍改善に關する件
ニ、賦首賃金値下絶對反對の件
ホ、出來高賞與に關する件
ヘ、病院充實に關する件
ト、勞働組合法即時制定要求の件

高須清　田中清　桐川ヨシノ　荒木三男三郎　田村吉松　村上ミサオ　荒木三男三郎

以上可決

一、新役員
支部長　齋藤勇　幹事長　荒木三男三郎
會計　田中清　幹事　二十一名中
婦人部幹事は　村上トクミ　齋藤キミヨ　村上ミサオ　羽田トミ　小川カク　久保トシエ　桐川ヨシノ　小林富美子　選出さる
一、紀念演說會　辯士　富田繁藏　土井直作　松岡駒吉の諸氏

かくて雨天にも不拘盛會裡に閉ぢた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

不景氣の話（一）

―財界不況とはどんなことか―

重廣虎雄

今年の春から、日本の財界不況は、よほどひどくなつて來た。財界不況とは、言ひ代へれば不景氣のことである。この不景氣の爲め、日本では今、現に百四十萬許りの失業者がゐると曰はれてゐる。失業者と云ふのは、働きたくつても働く仕事がない、從つて食べるに困つてゐる勞働者のことである。その失業者は大抵首を馘られた人が多いのである。百四十萬人の馘首者！　さつと、大阪市の人口ほどの數である。この失業者には親妻子がある。そこで、平均、三人家內とすると、四百二十萬人の人間が食ふや食はずの生活をしてゐることゝなる殺人、强盜、親子心中、等、この失業苦から、種々の悲慘な涙の實話が持ちあ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF IOWA

拂底
底を拂ふ
器物の中の
品が少なく
なると底が

がつてゐる。
然らば、この悲慘な失業をうむ不景氣とはどんなものか。
不景氣になると、第一に何事によらず商買は繁盛しなくなる。皆一樣に財布が輕いから、物を買はなくなる。物が賣れないとなると、商人は、結局御飯を食べずにゐなければならないから、儲けは少なくても賣らなければならない。で、品物の値段を下げてゆく。品物の値段を下げても賣れなければ、また値段を下げる。と云ふ風にして、だん／＼値段は下がるのである。品物を作らへる工業家や、資本家の方では、安くてしかも賣れ行きの惡るい品物を澤山製造すれば、するほど儲からなくなる。或は時によつて、製造品の原料や工賃代も出ない。即ち元が切れて、利益どころか損になる破目になる。何故と言へば、物が賣れて儲かる爲には、その品物の數が買人に較べて少なくて、即ち拂底してゐて、その品物の買人はその品物を欲しがつて競爭するやうでなければならないのだが、不景氣の折は、物はうれなくて、安くなつてゐるから、品物は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

見えてくる即ち商品が市場に少なくなること

操業短縮 生産品をわざと少なくする爲に機械の一部分の運轉を休ませたり或は全體の運轉時間を短くしたりすること

倒産 身代限りをすること破産と同じ意味

拂底どころか、あり餘つてゐる。そこへ新しく製品が、賣りに出れば、品物は益々多くなつて買手よりも多くなる。さうなると、品物はだん／＼益々安くなるのである。だから、この製品の安くなるのを防ぐ爲めに、各工場では物品の製造を手控へする。近頃紡績の操業短縮とか、セメント會社の生産制限とか皆この物品の製造を手控へする方法である。

かくてまた、工場が仕事を手控へするやうな時代には、どんな事業を始めても儲からないので各社の事業は一向始まらない。――以上のやうな風に、物はだん／＼安くなる。從つて事業は起つて來ない、儲からない。となると、社會全體の人の懐中加減は惡るくなつて、生活にも差し支へることになる。

特に、この場合生活に苦勞するのは、勞働者農夫と小商人である。

不景氣の爲に大資本家か倒産することもあるが、工場勞働者は不景氣の爲に失業したり、失業しない迄も賃金が安くなつて、その安賃銀では安物價の物さへも買ふことが出來ない。農夫はまた、野菜物や繭が安くなつたのに拘らず稅

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF IOWA

金や、肥料代はどし〲取られて水許り飲んでゐなくてはならない。小商人は商賣相手の勞働者や農夫が、物を買ふ錢を持たないから、これも一切商賣にならない。

大資本家や大商人は不景氣の場合、たゞ大きな儲や、大事業が出來ないだけで生活には困らないが、不景氣が來て、一樣に四苦八苦するのは、無產勤勞階級許りと云ふことになる。

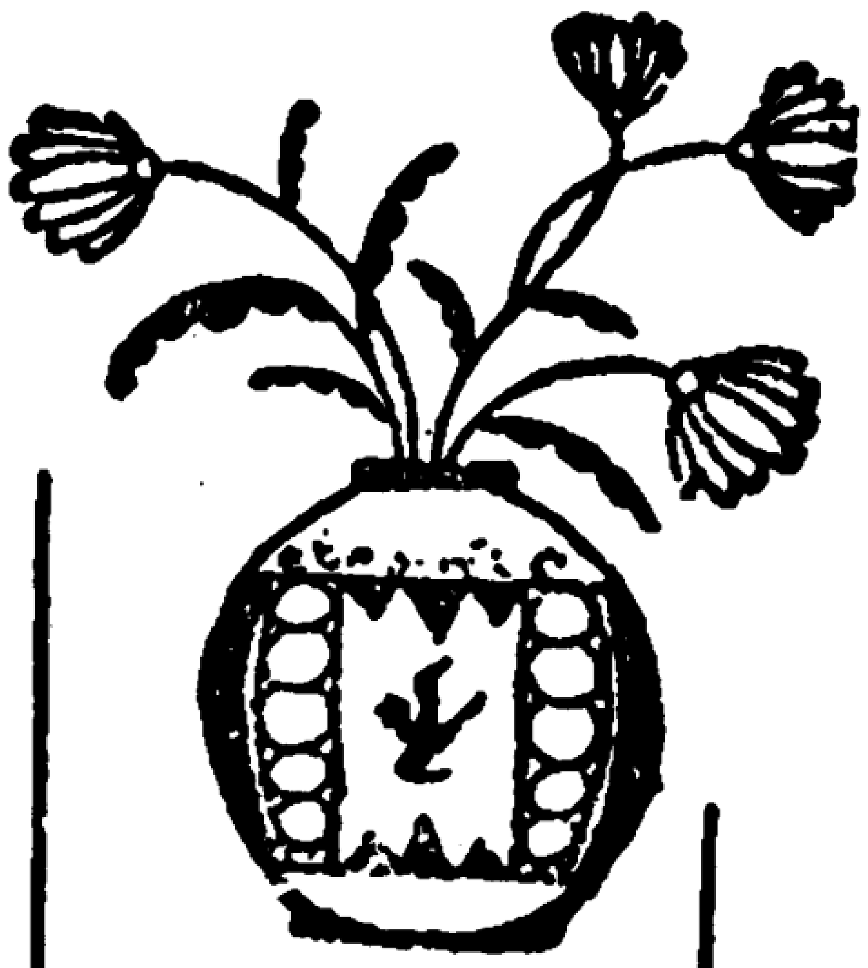
然らば、一體この不景氣はなぜ起つたか。無產階級のせいで起つたのであるか。否、否！ 資本家の出鱈目な工場の經營や、商賣のやりかたから起つて來たのである。（つゞく）

凄い應援

▼苦鬪百日。今尙ほ解決を見ざる東京府下前田織工所爭議に、雨が降らうが風が吹こうが毎　の如く應援に出かける紡織吾婦支部の勇敢なる婦人諸君に、資本家の番犬として管下の爭議に常に陰險且惡辣なる彈壓の常習犯寺嶋署高等係新井某は『ヤイお前等の出る處ぢやない歸れ歸れ』とドナッたものだ。

▼しかし其處は百練の婦人鬪士だ。『何云つてる　だゞ勞働者が勞働者の爭議を應援するのに不思議はないよ。お前達こそ赤の他人だ。引込め！』流石の新井も二の句が出ずギャフン……。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA



芽は伸びる

藤島けい子

白い櫻の花びらが、二つ三つさつと風に乘つて窓から吹きこんで、おみわの机の上に舞ひ下りた。

その最後の一ひらが、硯の海にピタリと墨汁に浮いた。みわは今、清書を書き上げた所であつた。『空ハ高ク水ハ清シ』

おみわは最後の清書を仕上げる迄には、ずいぶんと草紙に練習をした。空のウ冠が右へ上りすぎぬ樣、清と云ふ字の三水と青と云ふ字がよく並ぶ樣に氣をつけた。

『たつた一枚しか貰つて來ない半紙だから書き替へは出來ないぞ』

みわはその一枚の半紙を前にして、神樣の前に祈る樣に、いよ〳〵思ひきつて最後の清書をおそれ〳〵仕上げたのだ。

けれどどうも空の字のウ冠りは右へ肩が上りすぎ、清と云ふ字も青の方が長くなりすぎて、三水とつれ合ひが取れなかつた。

『もつとよく書けるんだが……。もう一枚書き替へたいなあ……。』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

おみわはこのまゝ之を先生の前へ持つて行くのが殘念だつた。

『もう一枚半紙があつたら……』

お菊ちやんもとしちやんも出來上つたらしい。教室はザワ〳〵と皆の頭が動き出した。

おみわは自分より二列前の机の下に白い紙がムチヤクチヤ〳〵にひねられて落ちてゐるのを見付けた。その机には艶子が今何枚目かの清書を書き替へて居る。一枚の清書に一帳の半紙を平氣でパツ〳〵と使ふ艶子、おみわはそうと腰掛けから半分體を横にずらして、艶子の横から覗いて見た。筆を握つてゐるその白い指を見て居ると、丁度その色は、艶子の家を取りまいてゐる高い白い壁の色に見えて來た。

『お旦那さん（地主）のお孃さんでねえけ。一帳位つかうの當り前だあ』

おゝわの隣に並んでゐるおゆうちやんがおみわの背に押しかゝる樣にしてやつぱり覗いて見て呟いた。

おみわはふと、母親の顏が暗い納戸に沈んでゐるのを悲しく思ひ出した。その母親に一枚の清書の半紙を貰ふのさへオヅ〳〵しなければならないその辛さに身を包んだ。

『おゆうちやん。お艶さまあお清書の日にや半紙を一帳も貰ふて來さつさやるだよ』

『違ふだ。十錢貰ふて來さつさやるだあ。前の光月堂で二張買ふて、そのあまりで今日は千代紙たんと買ひなすつただあ』

『ほう。おゆうちやんはよう知つとるのう』

『おらあちやんと今日あと附いて來たけえ、よう見ただあ』

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

……お話しをしてゐるのは誰ですか。そこの所はやかましいねえ……
先生は椅子から立上つておみわ達の所を指さして目をきつくして睨めつけた。紫の袴が風でフワ〱と搖れたハツトしたおみわとおゆうの所へ、皆の白い顔がさつと向けられた。二人はオド〱と腰掛けに座り直してきまり惡く手で一寸髮を撫でた。
おみわは十錢銀貨を、頭の中であちこち轉がして見て撫で廻した。
『十錢も子供が貰ふ。お艶さまは十錢も一ぺんに使ふ。
どうしてお旦那さんの家には十錢も子供にやるのだらう。十錢。十錢。十錢もあつたらなあ。』
どこかで十錢自分で盗んだ樣な氣がしておみわは恐ろしい氣がした。
尋常三年生のおみわにはその不思議が何故だか解る筈もなかつた。
おみわにはまだ〱不思議な譯の解らない事がつゞいた。
『お艶さまあ先生と同じ樣な袴をもう穿いてゐる。御手玉の切れあ赤い縮緬だし、御辨當の御副食は玉子燒きと肉の佃煮だし、筆入でも見た事のない赤塗りの箱で中にあ、きれいなナイフや鉛筆が何本も〱先を尖がらして入つてゐるし……』
おみわは自分の筆入れが、姉の御古で錻力が凸凹になつてゐて中では短かい鉛筆が先きを圓くして寂しくカラン〱と鳴つてゐるのをそうつと思ふて頭をうなだれた。

◇　◇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

艶子もやつと書き上げたらしい。一番おくれて先生の前へ出した様だ。みんなはコト〳〵と硯を又磨りかへて次の所をお習し始めた。おみわはさつきの櫻の花びらの表を墨に染めまいとして、そうつとよけて海の水を上へ送り出して磨り出した。いゝ墨が、ざら〳〵した音をたてた。

先生はみんなの清書を揃へ直して机の抽出しに入れると、それと入れ代えにこの前の清書のお點のついたのを取り出した。

みんなは、いつも御清書の日に前のが返して貰へる事になつてゐるので、代る〳〵ピヨコ〳〵と頭を上げては先生の方を見上げた。

先生はぐつと右から左を見渡した。

『まだ名前を呼ばないかなあ……』

……みんな筆をおく。之からこの前の清書を返しますが、甲上が二枚ありますから、こゝに張りつけます。みんな自分のと比べてよく見なさい……。

先生は上草履をパツタ〳〵引ずつて二枚の紙をヒラ〳〵させて壇を下りて右側の板にピンで張りつけた。みんなは張りきつた興奮の中に體中を目にして眞先きに名前の所をあさつた。一枚目は河村なつ子、二枚目は酒井艶子と讀めた。

みんなは一寸しいんと靜まりかへつてその名が飲み込める迄默つてゐたが、やう〳〵その興奮がこの二人の名でさらはれると、ガヤ〳〵と呟き始めた。　（つゞく）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF IOWA

資本團の策謀を排して完全なる勞働組合法を闘ひ取れ!!

我等の家はお互の腕で!!

日本勞働會館建設寄附金　第二十回報告

前月越高　金二萬七千九百二十二圓八十八錢也
本月受高　金十圓　錢也
累計　金二萬七千九百卅二圓八十八錢也

（氏名詳細日本民衆新聞參照）

鐘紡爭議會計報告

收入

項目	圓
寄附金總額　阪扱分	六、〇六九、二二
同（京都扱分	一、三八九、六六
演說，純收入共他	三六二、七六
爭議團より出資額	一七一、三〇
行商隊の收益金額	一一六、四八
物品及貨費にて寄贈	
大阪扱分	一、三四五、八二
京都扱分	九四六、〇五
各方面より借入金	一九、四六四、九九
合計	二九、八六五、九九

支出

項目	圓
米	七、四三三、一五
副食物	二、五八九、五四
家屋費	二、〇〇六、六六
交通費	四、二八二、九九
通信費	二八三、五七
寢具費	三、一三六、七二
印刷費	四〇二、七三
人件費	一、七三五、三〇
救護費	一、〇八、二七
文具鉛紙類	五二一、九二
行商用商品代	一〇三、〇〇
會場費	二九九、〇〇
薪炭	五八三、一五
物品及實費の分	二、二九一、八七
雜費	三、二一〇、九六
合計	二九、八六五、九九

昭和五年六月　日
勞働總同盟大阪聯合會
同　京都聯合會

本部婦人部より

◇この炎暑の下に、首切りと賃下と戰ひつゝある同志よ。一大受難期に直面した勞働階級は唯力で押し切るのみだ。負けるな。嘆くな。萎むな。うんと頑張りませう。

◇本號の編輯を少し變へて見ました。いかゞでせう。赤裸々なる批評を待つて居ります。

昭和五年七月三十一日印刷
昭和五年八月一日發行
（定價二十錢）

編輯兼發行者　松岡駒吉　東京府荏原郡荏原町戸越四八九
印刷者　小澤正太郎　東京市京橋區木挽町十二
印刷所　永進社印刷所　東京市京橋區木挽町十二
發行所　日本勞働總同盟本部　東京市芝區三田四國町二　電話三〇四三六番　振替東京三一五七番

第三二册